



札幌市立大谷地小学校 学校だより

令和7年(2025年) 第10号

12月25日



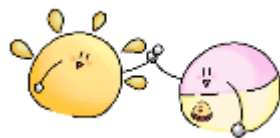
学校 HP

大谷地

「あったか大谷地」の輪を広げて

早いもので、今年も一年の終わりを迎えようとしています。本校では、この一年「あったか大谷地」を合言葉に、思いやりの心を大切にした教育活動を進めてきました。困っている友だちに声をかける姿、互いの考えを尊重しながら話し合う姿、学年を越えて助け合う姿など、子どもたちの中に温かなつながりが育っていることを、日々うれしく感じています。こうした姿は、学校生活の中だけでなく、地域やご家庭で培われてきた力が土台となっているものです。

子どもたちも「あったか大谷地」を意識して活動していました。書記局では「あったか大谷地」にちなんだキャラクターづくりの取組をしました。キャラクターには「太陽くん」「大谷地ちゃん」が選ばれ今後の大谷地小学校の活動のシンボルとなります。



また、学習面においても、自分の考えを伝えようとする姿勢や、粘り強く取り組む態度が定着してきました。失敗を恐れず挑戦し、仲間とともに学ぶ経験を重ねることで、子どもたちは一歩ずつ確かな成長を遂げています。

この一年、本校の教育活動に対し、温かく見守り、支えてくださった保護者の皆様へ、心より感謝申し上げます。皆様のご理解とご協力が、子どもたちの安心と笑顔につながっています。新しい年も、「あったか大谷地」の輪をさらに広げ、子どもたちが安心して学び合える学校づくりに教職員一同努めてまいります。どうぞよいお年をお迎えください。

命を守るために

長期休業期間は、生活リズムの変化や人との関わりの減少などから、子どもや若者の自殺率が高まる傾向があるといわれています。悩みを一人で抱え込まないことが大切です。ご家庭でも、普段と違う様子がないか気かけ、話を聞く時間を大切にしてください。何かありましたらいつでも学校までご相談ください。また、裏面にも相談機関についてのお知らせがありますのでご確認ください。

3年生 教えてファイヤーマン

3年生は、4日(木)に「教えてファイヤーマン」の学習を行いました。現役の消防士に来ていただき、本物の防火服などの装備を間近で見せていただきました。装備の重さや工夫に、子どもたちは驚きの声を上げていました。また、火事や救助の現場でのお話を聞き、人々の命とくらしを守る仕事の大切さを学ぶことができました。



5年生 幼保小交流

5年生は、9日(火)と11日(木)に白樺幼稚園とたかだ保育園の年長さんとの交流活動を行いました。じゃんけん列車や簡単な遊びを通して、年長さんと楽しくふれ合いました。優しく声をかけたり、ルールを分かりやすく説明したりと、年長さんを思いやる5年生の姿が多く見られました。年長さんの笑顔に、5年生自身も成長を実感する、心温まる時間となりました。



6年生 裁判所見学

6年生は、23日(火)と24日(水)に社会科の学習の一環として札幌地方裁判所を見学しました。裁判所の役割や仕組みについて説明を受けた後、模擬裁判を体験しました。裁判官や検察官、弁護人の立場に分かれて考える中で、公正に判断することの大切さや法律の役割について理解を深めました。